

平成20年3月11日

報道機関 各位

東北大学病院

## 高血圧症治療の新たな標的を同定

この度、東北大学病院腎・高血圧・内分泌科の種本雅之助教のグループにおいて、腎臓の尿細管でカリウムイオン輸送を担っているカリウムチャンネルの発現制御に係わる分子を同定し、同定された分子がカリウムチャンネルを尿細管で適切に機能させる役割を担うことを明らかにしました。

腎臓は、生体の体液量とその組成を一定に保つ機能（恒常性）を担う臓器であり、腎臓は、その構成器官である糸球体で一度濾過した体液を、糸球体に繋がる器官である尿細管で再吸収する過程により、体液恒常性を制御しています。現在、我が国を含む先進諸国で、最も罹患率の高い疾患である高血圧症の発症やその病態維持に、腎臓での体液量の制御不良が関与することが知られています。尿細管のカリウムチャンネルは、尿細管における体液の再吸収過程において欠くことの出来ない役割を果たすことが知られており、本研究で同定された分子が、高血圧症の発症やその病態維持に関与している可能性が疑われ、本研究成果に基づいた高血圧症に対する新たな治療が期待されます。

なお、下記の日程で記者会見・PC プレゼンテーションを行いますのでお願いいたします。

### 記

日 時：平成20年 3月17日（月）午前11時より

場 所：東北大学病院東4階病棟 第5会議室

内 容：PC プレゼンテーション、及び質疑応答（計1時間程度）

以上

お問い合わせ先

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1

東北大学病院

腎・高血圧・内分泌科

種 本 雅 之

TEL：022-717-7163